

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」  
令和4年度（2022年度）授業研究セミナー

## 道北・地歴公民 実施報告



令和4年12月2日（金）、北海道名寄高等学校を会場に「地歴公民科における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの充実）とICT（1人1台端末）を活用した効果的な学習指導の在り方」をテーマとして、地歴公民科の授業研究セミナーを開催しました。道北ブロックの各管内から、15名の参加がありました。本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用ください。

### 実施状況

#### 【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭4名、道教委指導主事3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。学習指導案検討会の第1回では、授業者が単元の指導計画を作成する上で、本校の育てたい資質・能力を明確にし、ねらいとした生徒の姿までどのように到達するか、という点について協議し、第2回及び第3回では、生徒の学習活動に係る評価規準と評価の場面が適切であるか、という観点で繰り返し協議を行いました。本校の生徒の実態に応じて、本校の育てたい資質・能力を育成するために、どのような学習活動を実施し、どのような評価規準と評価の場面が必要であるかを協議し、指導と評価の一体化の大切さを再確認しました。

#### 【研究授業（実践発表）】北海道名寄高等学校 濱中 聡志 教諭

公共（大項目 B「(2)主として政治に関わる事項」の「我が国の安全保障と防衛」）の「日本の安全保障と防衛」において、「核なき世界は実現できるか」を問いとして設定し、研究授業を行いました。本時の授業では、思考実験（囚人のジレンマ）を活用し、生徒がこれまでの授業内容を踏まえ、国際協調のためには何が必要か考察するとともに、核兵器禁止条約について理解し、なぜ日本がこの条約に参加しないのか考えました。学習活動として、生徒がタブレットを活用し、思考実験の結果を「jamboard」に入力し、実験結果を共有するとともに、結果について、なぜそのような結果になったのか考察することで、軍縮には多くの課題があることに気付くことができました。



[学習指導案リンク](#)



[ワークシートリンク](#)

## 【研究協議】「公共における探究的な学びについて」

研究授業の振り返りとして、授業者からの説明及び質疑応答を行った後、それぞれグループに分かれ、「各校の公共における探究的な学び」及び「本時の学習指導案のブラッシュアップ」を柱に研究協議を行いました。自校での実践の様子及び課題と



感じていることなどについて意見交換するとともに、研究授業を踏まえ、参加者それぞれが「自分ならこうする」という視点で本時の学習指導案のブラッシュアップを行いました。授業者である濱中先生をはじめ、授業研究チームの先生方も協議に加わり、活発な協議となりました。協議後の各グループからの発表で、「学習活動と評価規準及び評価の場面が適切であることが重要」という意見などがあり、協議を深めることができました。また、



運営者より、「令和4年度教育課程編成・実施の手引」に基づき、「公共における授業づくり」について、指導と評価の一体化の考え方を整理した上で、単元の指導計画を作成する際の観点別学習状況の適切な見取り方についての説明がありました。本セミナーを通して気付いたことや学んだことを、自校において還元し、今後の取組に生かすことができる協議となりました。

## セミナー参加者の声

### 【参加者の声】

- 研究協議で生徒の思考を更に深めるために、どのような発問が適切かなどの改善策が議論され、自身の学びに対する考えや探究活動に関する知識が深まった。
- ICT活用について、新しい手法を取り入れられそうだと感じた。また、生徒の活発な議論の様子を見て、ICT活用が学習に効果的であるということが理解できた。
- どのような場面でICTを活用するかなど、教員側の準備も含めて学ぶことができた。
- 単元の指導計画と本時の授業計画の立て方について、生徒と教員双方が同じ見通しを持って学習を進められるという点を、理論上ではなく実際の授業で目の当たりにして、すぐに実践したいと感じた。
- 現実社会の問題について、授業で得た知識を活用し、生徒の考えを表現させるとともに、その考えを共有して、改めて生徒自身の考えを再考させる実践が参考になった。

### 【アンケートの結果（一部）】

- 1 教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
  - ・おおいに深まった 77.8%
  - ・深まった 22.2%
- 2 今回のセミナーで紹介した教材や指導方法、研究授業、研究協議の内容等は、あなたの授業において活用できますか。
  - ・おおいに活用できる 77.8%
  - ・活用できる 22.2%